

授業プリントの記載について（板書のルール）（1・3年共通）

政治経済担当の太田直之です。授業ができない代わりに課題ばかりで済みません。

授業プリントの記載（とくに赤，青，緑の使い分け）について本来なら授業で説明するところですが，この資料を示して説明に換えます。

授業プリントの穴埋めをもう完了した人もいると思いますが，こちらを見てもう一度プリントを見直してくださいね！

まず授業プリント記入例に

「赤」で記載されている語句，人名は，

「絶対に覚えるべき基本事項」です。（教科書の太ゴシック等）

続いて

「青」の下線（アンダーライン）が引かれている語句，人名は

「赤ほどの重要(基本)事項でないが，受験では抑えるべき事項」です。

※例外として，青の波線を記入する場合などもありますが，「ここも見てね！」という意味を含んでいると思ってください。

また

「青」の下線に記入された言葉はその語句，人名の補足や説明で，

「覚える手掛かり」にして欲しい内容です。

なお，

「緑」の記入は，全体的な補足や説明，参照して欲しい資料のページを記載しています。

こちらも「覚える手掛かり」にしてもらえると幸いです。参照の指示があるページはぜひ目を通すようにしてくださいね！

また，授業プリントに記載されている記号については，

「ex.」は，「例」を表します。

「cf.」は，「比較せよ・対照せよ」の意味で，「語句や人名に関連する事柄」や，「合わせて覚えない言葉」，「対になる言葉」などを記入しています。

以上，癖のあるプリントですが，頑張って記入し，理解するよう努めてください！